



2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社アクシーズ 上場取引所 東
 コード番号 1381 URL http://www.axyz-grp.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊地知 高正
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 榊 茂 (TEL) 099-223-7385
 定時株主総会開催予定日 2024年9月18日 配当支払開始予定日 2024年9月19日
 有価証券報告書提出予定日 2024年9月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の連結業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	25,836	7.2	1,570	△17.8	1,780	△10.0	1,239	△12.1
2023年6月期	24,101	10.9	1,911	△22.1	1,977	△25.9	1,410	△27.4

(注) 包括利益 2024年6月期 1,514百万円(0.3%) 2023年6月期 1,511百万円(△22.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	220.74	—	6.1	7.6	6.1
2023年6月期	251.17	—	7.3	9.0	7.9

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 △0百万円 2023年6月期 2百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	24,451	20,723	84.8	3,690.22
2023年6月期	22,636	19,750	87.2	3,516.95

(参考) 自己資本 2024年6月期 20,723百万円 2023年6月期 19,750百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	3,729	△2,182	△584	7,115
2023年6月期	2,635	△2,180	△572	6,152

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	—	0.00	—	96.50	96.50	541	38.4	2.8
2024年6月期	—	0.00	—	98.50	98.50	553	44.6	2.7
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	98.50	98.50		55.3	

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	25,500	△1.3	1,000	△36.3	1,100	△38.2	1,000	△19.3	178.07

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期	5,617,500株	2023年6月期	5,617,500株
② 期末自己株式数	2024年6月期	1,783株	2023年6月期	1,783株
③ 期中平均株式数	2024年6月期	5,615,717株	2023年6月期	5,615,736株

(参考) 個別業績の概要

2024年6月期の個別業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	22,117	7.6	1,147	△16.8	1,596	△7.4	1,216	△8.5
2023年6月期	20,546	11.3	1,379	△27.5	1,723	△23.4	1,329	△24.3
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年6月期	216.67		—					
2023年6月期	236.72		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年6月期	21,147		17,227		81.5	3,067.67		
2023年6月期	18,605		16,432		88.3	2,926.14		

(参考) 自己資本 2024年6月期 17,227百万円 2023年6月期 16,432百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、国内企業の価格転嫁や個人消費の増加等により企業の業況感は緩やかに持ち直し、DX関連をはじめとする設備投資の増加や雇用情勢の改善がみられる等、景気に緩やかな回復の動きがみられました。

しかしながら、ウクライナおよび中東地域をめぐる情勢や、急激な円安等の影響による更なる物価上昇に加え、金融資本市場の変動など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

鶏肉業界におきましては、主要製造コストである飼料原料価格が高止まりしていることに加え、その他人件費等の製造コストの上昇が継続しております。また、鶏肉相場は国内における鶏肉の生産が増加したことにより、需給バランスは緩んできており、今後も厳しい状況が続くものと思われまます。

このような経営環境のもと、当社グループは、飼料製造段階から、飼育、鶏肉生産・加工までの全てをグループ内で行っていくことにより、様々なお客さまのニーズに応えることを目指しております。

食品事業では、将来の生産能力増強及び効率化・省力化を企図した鶏肉加工工場群の改修投資を実施し、増産体制構築のための設備投資を順次進めております。

このような状況下、鶏肉相場が堅調に推移した結果、売上高は前期比7.8%の増収となりました。一方、主要製造コストである飼料原料価格が高止まりしていることに加え、設備投資の実施により減価償却費の増加、また、人件費の増加を受けた結果、利益面は前期比28.0%の減益となりました。

外食事業におきましては、今年5月に兵庫県神戸市に新店舗（KFC店舗）を出店した結果、売上高は前期比4.5%の増収となったものの、利益面では人件費等の増加を受けて前期比2.7%の減益となりました。

以上の結果、当社グループの業績は、売上高258億36百万円（前期比7.2%増）となりました。利益面につきましては、営業利益15億70百万円（同17.8%減）、経常利益17億80百万円（同10.0%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は12億39百万円（同12.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 食品

売上高は217億9百万円（前期比7.8%増）、セグメント利益は9億26百万円（同28.0%減）となりました。

② 外食

売上高は36億54百万円（同4.5%増）、セグメント利益は3億17百万円（同2.7%減）となりました。

③ エネルギー

売上高は4億71百万円（同1.2%増）、セグメント利益は3億26百万円（同9.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産・負債及び純資産の状況

	前連結会計年度末	当連結会計期間末	増減
総資産（百万円）	22,636	24,451	1,814
純資産（百万円）	19,750	20,723	973
自己資本比率（%）	87.2	84.8	△2.5
1株当たり純資産（円）	3,516.95	3,690.22	173.27

当連結会計年度末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

資産合計は、244億51百万円（前連結会計年度末比18億14百万円増加）となりました。

- ・流動資産：現金及び預金、売掛金の増加などにより5億56百万円増加
- ・固定資産：建物及び構築物（純額）及び、投資その他の資産の増加などにより12億58百万円増加

(負債)

負債合計は、37億28百万円（前連結会計年度末比8億41百万円増加）となりました。

- ・流動負債：未払金及び未払法人税等の増加などにより8億20百万円増加
- ・固定負債：繰延税金負債の増加などにより20百万円増加

(純資産)

純資産合計は、207億23百万円（前連結会計年度末比9億73百万円増加）となりました。

- ・株主資本：親会社株主に帰属する当期純利益の計上、配当金の支払などにより6億97百万円増加
- ・その他の包括利益累計額：その他有価証券評価差額金の増加により2億75百万円増加

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの状況

	連結会計年度		増減 (百万円)
	2023年6月期 (百万円)	2024年6月期 (百万円)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,635	3,729	1,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,180	△2,182	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△572	△584	△11

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9億62百万円（15.6%）増加し、71億15百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、37億29百万円（前年同期比10億94百万円増加）となりました。

- ・主な増加要因：税金等調整前当期純利益の計上17億48百万円 減価償却費17億59百万円
- ・主な減少要因：法人税等の支払額4億46百万円

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、△21億82百万円（前年同期比1百万円支出額が増加）となりました。

- ・主な減少要因：有形固定資産の取得による支出21億54百万円

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、△5億84百万円（前年同期比11百万円支出額が増加）となりました。

- ・主な減少要因：配当金の支払額5億41百万円

(4) 今後の見通し

今後の見通しにおきましては、不安定な国際情勢や資源価格の高騰、金融資本市場の変動など、国内外の経済情勢の先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループへの影響が大きい飼料原料価格については、世界的なコロナ禍からの需要回復やバイオ燃料消費の拡大に加え、ロシア・ウクライナの情勢悪化による穀物の供給不安およびサプライチェーン(供給網)混乱の長期化懸念により、価格が高止まりするものと想定しております。

こうした状況下におきまして、当社グループは生産性の向上により販売数量の最大化を目指すとともに、販売価格の適正化を進めてまいります。

また、消費者に対する安全・安心への信頼を保証すべく、更なる品質管理体制の発展に注力いたします。

以上により、通期連結業績見通しといたしましては、足許の鶏肉相場は弱含みで推移していることを踏まえ売上高255億円、利益面につきましては、人件費が増加することに加えて、飼料原料価格が高止まりすることが見込まれるため、営業利益10億円、経常利益11億円、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては10億円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,162	7,125
受取手形	0	0
売掛金	2,390	2,506
製品	319	353
仕掛品	585	548
原材料及び貯蔵品	1,096	898
その他	992	673
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	11,548	12,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,966	2,477
機械装置及び運搬具（純額）	1,792	2,121
工具、器具及び備品（純額）	3,578	3,260
土地	2,375	2,397
リース資産（純額）	90	64
建設仮勘定	233	597
有形固定資産合計	10,037	10,918
無形固定資産		
投資その他の資産	7	14
投資有価証券	699	1,122
繰延税金資産	60	10
その他	284	281
投資その他の資産合計	1,044	1,414
固定資産合計	11,088	12,347
資産合計	22,636	24,451

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	647	598
1年内償還予定の社債	—	35
未払金	1,392	2,115
リース債務	42	37
未払法人税等	162	239
その他	107	147
流動負債合計	2,353	3,174
固定負債		
社債	35	—
リース債務	59	22
繰延税金負債	0	73
役員退職慰労引当金	56	62
退職給付に係る負債	237	250
その他	143	145
固定負債合計	533	554
負債合計	2,886	3,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	452	452
資本剰余金	428	428
利益剰余金	18,654	19,352
自己株式	△2	△2
株主資本合計	19,533	20,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	492
その他の包括利益累計額合計	217	492
純資産合計	19,750	20,723
負債純資産合計	22,636	24,451

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	24,101	25,836
売上原価	18,092	19,910
売上総利益	6,009	5,925
販売費及び一般管理費	4,097	4,355
営業利益	1,911	1,570
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	16
持分法による投資利益	2	—
受取家賃	17	25
為替差益	—	11
受取保険金	40	86
補助金収入	21	46
その他	32	34
営業外収益合計	129	219
営業外費用		
支払利息	6	4
持分法による投資損失	—	0
為替差損	51	—
減損損失	1	0
その他	4	3
営業外費用合計	63	9
経常利益	1,977	1,780
特別利益		
受取保険金	—	21
補助金収入	—	7
特別利益合計	—	29
特別損失		
減損損失	61	38
固定資産圧縮損	—	22
特別損失合計	61	60
税金等調整前当期純利益	1,916	1,748
法人税、住民税及び事業税	551	519
法人税等調整額	△45	△10
法人税等合計	505	509
当期純利益	1,410	1,239
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,410	1,239

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益	1,410	1,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	275
その他の包括利益合計	100	275
包括利益	1,511	1,514
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,511	1,514
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	452	428	17,777	△2	18,656
当期変動額					
剰余金の配当			△533		△533
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,410		1,410
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	876	△0	876
当期末残高	452	428	18,654	△2	19,533

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	116	116	18,772
当期変動額			
剰余金の配当			△533
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,410
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	100	100	100
当期変動額合計	100	100	977
当期末残高	217	217	19,750

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	452	428	18,654	△2	19,533
当期変動額					
剰余金の配当			△541		△541
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,239		1,239
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	697	—	697
当期末残高	452	428	19,352	△2	20,230

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	217	217	19,750
当期変動額			
剰余金の配当			△541
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,239
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	275	275	275
当期変動額合計	275	275	973
当期末残高	492	492	20,723

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,916	1,748
減価償却費	1,580	1,759
減損損失	62	39
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	33	13
受取利息及び受取配当金	△14	△16
その他の営業外損益 (△は益)	△108	△189
支払利息	6	4
持分法による投資損益 (△は益)	△2	0
固定資産圧縮損	—	22
その他の特別損益 (△は益)	—	△29
売上債権の増減額 (△は増加)	△473	△115
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△203	201
仕入債務の増減額 (△は減少)	124	△49
未払金の増減額 (△は減少)	134	191
その他	67	357
小計	3,130	3,945
利息及び配当金の受取額	14	16
利息の支払額	△6	△4
賃貸料の受取額	17	25
保険金の受取額	40	107
法人税等の支払額	△612	△446
その他	49	85
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,635	3,729
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	10	10
有形固定資産の取得による支出	△2,126	△2,154
無形固定資産の取得による支出	△8	△6
投資有価証券の取得による支出	△27	△15
その他	△18	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,180	△2,182
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△38	△42
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△533	△541
財務活動によるキャッシュ・フロー	△572	△584
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△117	962
現金及び現金同等物の期首残高	6,270	6,152
現金及び現金同等物の期末残高	6,152	7,115

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、業種別のセグメントから構成されており、「食品」、「外食」及び「エネルギー」を報告セグメントとしております。

「食品」は主に鶏肉(チルド及びフローズン)や鶏肉に加熱、味付け等を施した加工食品の製造及び販売を行っております。「外食」はケンタッキーフライドチキン及びピザハット店舗のFC事業を行っております。「エネルギー」は再生可能エネルギーの供給を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				連結財務諸表 計上額(注)
	食品	外食	エネルギー	計	
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	20,136	3,498	465	24,101	24,101
外部顧客への売上高	20,136	3,498	465	24,101	24,101
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,136	3,498	465	24,101	24,101
セグメント利益	1,286	326	298	1,911	1,911
セグメント資産	19,655	2,074	907	22,636	22,636
その他の項目					
減価償却費	1,379	52	148	1,579	1,579
のれんの償却費	—	0	—	0	0
減損損失	62	—	—	62	62
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,055	138	115	2,309	2,309

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				連結財務諸表 計上額(注)
	食品	外食	エネルギー	計	
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	21,709	3,654	471	25,836	25,836
外部顧客への売上高	21,709	3,654	471	25,836	25,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,709	3,654	471	25,836	25,836
セグメント利益	926	317	326	1,570	1,570
セグメント資産	21,253	2,419	778	24,451	24,451
その他の項目					
減価償却費	1,571	57	129	1,759	1,759
のれんの償却費	—	0	—	0	0
減損損失	35	3	—	39	39
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,559	115	—	2,674	2,674

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	3,516円95銭	3,690円22銭
1株当たり当期純利益	251円17銭	220円74銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,410	1,239
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,410	1,239
期中平均株式数(株)	5,615,736	5,615,717

(重要な後発事象)

該当事項はありません。